

平成30年度東海・北陸ブロック 老人クラブフリーダー研修会



平成30年度「東海・北陸ブロック老人クラブフリーダー研修会」が7月5日・6日の2日間の日程で蒲郡市蒲郡温泉「ホテル竹島」で行われました。各地区老人クラブ連合会の代表者160名が参加、数日前から続く豪雨により石川県から参加予定の1団は欠席



となったものの、メインテーマ「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のもと、基調報告・講演・事例発表などが行われ、老人クラブのフリーダーとして研鑽を積みました。

【1日目】

午後2時より海皇の間で開会。続いて河野敦子全老連参事より「老人クラブ組織の発展に向けて」と題して基調報告があり、「100万人会員増強運動」最終年次に向け、老人クラブとしての今後の取り組みを示唆しました。休憩を挟んで東海テレビ編成局の庄野俊哉氏より「話し声のする元気な街づくり」と題して講演がありました。お腹から大きな声を出す習慣があると、誤嚥性肺炎や認知症

の予防になり、庄野氏が仕事の一環として取り組む「音読」もこれらの予防に有効ということで、音読の秘訣を伝授していただきながら、会場の参加者全員で早口言葉や文章を音読しました。

その後、豊田市棒の手保存会の皆さんによるアトラクションが披露され、1時間の休憩の後、会場を竹島の間に移し懇親会に入りました。

【2日目】



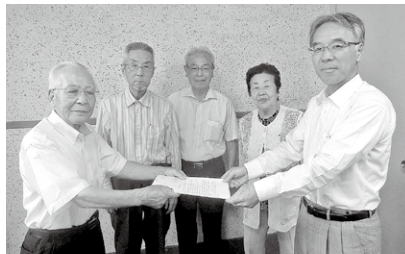
午前8時30分より「いきいきクラブ体操」でスタート。各地区の事例発表を中心に進行、名古屋市老連からは、天白区八事山年輪会連合の安江春彦会長が発表しました。発表が終わる度に活発な質疑応答があり、参加者の多くは自分のクラブに活用できないものが真剣に聞き入っていました。

訪れ、山田俊彦長寿社会企画監に市長あての要望書を提出しました。

平成31年度 名古屋市長への 予算要望書を提出

7月19日、来年度の予算編成を前に、なごやかクラブ名古屋(市老連)の三溝芳隆会長はじめ伊野一彦、犬飼謙治、加納年子各副会長が名古屋市の行政支援についての予算等の要望のため名古屋市役所を

三溝会長は、「単位老人クラブ会長の高齢化の進行により補助金精算報告が大変負担となっているとの声が多く寄せられていますので、老人クラブ運営補助金申



請・精算報告の簡素化と適切なご指導をお願いしたい」と要望しました。市側からは、「運営補助金申請・精算報告の簡素化については、市老連と協議して検討させていただきます」とのお話がありました。

平成30年度 新任会長研修会



記録的な猛暑となった7月18日、昭和文化的劇場において、平成30年度新任会長研修会が開催され、新任会長150人とクラブフリーダー19人が参集しました。

開会にあたり、あいさつに立った三溝会長は、組織の長としての振る舞いに触れ、自身が先輩から教えられた話として、「正」という字は、上の一本を外すと「止」という字になります。困難に際しては、一度立ち止まり、相談するなどの行動を取ることが大切です」と、新たにフリーダーとなった参加者に述べられました。

続いて塚原義政研修委員長から「老人クラブの組織と活動」と題して講義をしていただきました。ここでは、老人クラブの組織、目的と性格、運営の原則が紹介され、老人クラブ活動は「生活を豊かにする楽しい活動」と「地域を豊かにする社会活動」に二分

され、相互に関わりを持ちながら、総合的に取り組まれるとされました。また活動推進の方法としては、会員誰もが

参加する全体の活動と、個々の会員の趣味などを生かした小グループ活動の調和の必要性が挙げられ、さらに高齢者の立場から、地域の関係機関、団体に対して提言、提案を行なうことが推奨されました。そして地域諸団体との協調の重要性が指摘され、地域の各世代が参加できるイベントを開催するなど、地域の活動に積極的に関わることが大切であるとされました。

最後には、「老人クラブフリーダー10力条」として、①健康であること②経済的に安定していること③家族の協力を得られること④奉仕の精神があること⑤面倒見がいい⑥好奇心が強いこと⑦スポーツや歌・旅行・おしゃべりに心を開ける⑧常に後継者を意識して⑨女性のリーダーシップを活かす⑩会員に対してPR活動を積極的に、が掲げられ、講義は締めくくられました。

次に名古屋市健康福祉局高齢福祉課の小川正洋企画係長から、老人クラブ運営補助金について、対象となる活動、申請などの手続きの流れや補助対象となる経費の例や申請書類の書き方などが詳説されました。



その後、休憩を挟んで、名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学講師の太西丈二氏により「地域包括ケア時代の老人クラブ」と題した講演をしていただきました。

「無理せず」次の信号 待しゆとり

なごやかクラブ 交通安全標語

信号が点滅し出してから慌てて渡るのは危険がいっぱい!!